平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月7日

上場会社名　株式会社 ピーエス三菱　　上場取引所　東
コード番号　1871　URL　http://www.psmic.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 勝木　恒男
問合せ先責任者 (役職名) 経理･財務部長　(氏名) 宅野　伸二　TEL 03-6385-9111

四半期報告書提出予定日　平成25年8月7日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	21,531	15.6	△160	―	△152	―	△245	―
25年3月期第1四半期	18,624	13.4	△465	―	△484	―	△562	―

(注) 包括利益　26年3月期第1四半期　△75百万円　(―%)　25年3月期第1四半期　△553百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△5.19	―
25年3月期第1四半期	△17.36	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	59,545	17,670	29.7
25年3月期	65,015	17,865	27.5

(参考) 自己資本　26年3月期第1四半期　17,670百万円　25年3月期　17,864百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	2.50	2.50
26年3月期	―				
26年3月期(予想)		0.00	―	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

(注)上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,000	16.6	△320	―	△390	―	△530	―	△12.50
通期	100,000	9.5	1,200	414.3	1,000	556.1	700	―	16.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	： 無
② ①以外の会計方針の変更	： 無
③ 会計上の見積りの変更	： 無
④ 修正再表示	： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	43,769,145 株	25年3月期	41,397,145 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	86,146 株	25年3月期	86,236 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	42,201,647 株	25年3月期1Q	32,400,335 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書レビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な容認により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2頁「1．当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る１株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種種類株式	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	―	0.00	―	5.00	5.00
26年３月期	―				
26年３月期（予想）		0.00	―	5.00	5.00

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8
３．補足情報 …… 10
受注実績 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間における我が国経済は、金融政策や経済対策の効果、輸出環境の改善などを背景に景気の回復局面に入ったと思われますが、未だくすぶる欧州信用不安、中国経済の行方や米国の財政・金融政策運営などの不透明な問題が存在し、先行きが読めない状況が続いております。

建設業界におきましては、東日本大震災から２年以上が経過し、復旧・復興等の公共投資への取り組みが徐々に本格化する中、民間工事の発注も増えるなど建設市場も明るい兆しが見えてきております。また、今後、国土強靱化政策を反映した建設投資が更に増加するものと思われますが、企業間の受注獲得競争が続いており、人手不足による労務費と原材料費を中心とした建設コストの高騰は、未だ採算悪化の懸念材料となっております。また建設市場の回復に伴い、建設コストは更に高騰する可能性もあり、厳しい環境は続くものと思われます。

このような経営環境のもとで、当社は基盤事業である橋梁に代表される公共工事を中心とした「土木事業」と民間工事を中心とした「建築事業」の２本柱の新設・新築工事はもちろんのこと、橋梁等の社会資本の老朽化への対策としての維持・補修分野や防災・減災対策としての人工地盤・津波避難施設等のＰＣ技術の適用範囲を広げ、新しい分野を開拓することで他社との差別化を図り「我が国トップのＰＣゼネコン」を目指しております。特に受注に関しては、採算重視の姿勢を守り、「受注管理」「原価管理」「資金・与信管理」「購買管理」の再徹底を行ってまいりました。

この結果、当第１四半期連結累計期間の業績は、売上高215億31百万円（前年同四半期比15.6%増）となりました。

利益につきましては、グループ各社とともに省力化、合理化による原価低減、販管費の削減等に取り組んでまいりましたが、営業損失１億60百万円（前年同四半期は営業損失４億65百万円）、経常損失１億52百万円（前年同四半期は経常損失４億84百万円）、四半期純損失２億45百万円（前年同四半期は四半期純損失５億62百万円）となりました。

なお、当社グループの主たる事業であります土木建設事業ならびに建築建設事業の売上高は、工事の発注が下半期、特に第４四半期連結会計期間に集中しているため、第１四半期連結会計期間から第３四半期連結会計期間における完成工事高に比べ、第４四半期連結会計期間の完成工事高が著しく多くなるといった季節的変動があります。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

土木建設事業は、売上高は102億44百万円（前年同四半期比2.8%増）、セグメント利益は９億96百万円（前年同四半期比12.3%増）となりました。

建築建設事業は、売上高は92億85百万円（前年同四半期比11.6%増）、セグメント利益は３億４百万円（前年同四半期比40.1%増）となりました。

製造事業は、売上高は７億60百万円（前年同四半期比3.2%減）、セグメント損失は31百万円（前年同四半期は14百万円の利益）となりました。

その他兼業事業は、売上高は27億81百万円（前年同四半期比379.6%増）、セグメント利益は１億85百万円（前年同四半期比151.6%増）となりました。

なお、セグメントの業績は、報告セグメントの売上高、セグメント利益又は損失を記載しております。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第１四半期連結会計期間末における流動資産は435億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ56億70百万円減少いたしました。これは主に未成工事支出金が10億76百万円、その他のたな卸資産が３億68百万円増加しましたが、現金預金が26億８百万円、受取手形・完成工事未収入金等が42億46百万円減少したことによるものであります。固定資産は159億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が１億68万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、595億45万円となり、前連結会計年度末に比べ54億70百万円減少いたしました。

（負債）

当第１四半期連結会計期間末における流動負債は358億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ55億48百万円減少いたしました。これは主に未成工事受入金が５億17百万円増加しましたが、支払手形・工事未払金等が20億40百万円、短期借入金が31億96百万円減少したことによるものであります。固定負債は60億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ２億73百万円増加いたしました。これは主に退職給付引当金が42百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、418億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ52億75百万円減少いたしました。

（純資産）

当第１四半期連結会計期間末における純資産合計は176億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億94百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が３億64百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は29.7%（前連結会計年度末は27.5%）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年５月10日の「平成25年３月期　決算短信」で公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成25年６月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	11,037	8,428
受取手形・完成工事未収入金等	31,702	27,455
未成工事支出金	2,893	3,969
その他のたな卸資産	1,503	1,871
繰延税金資産	25	2
未収入金	1,806	1,374
その他	422	602
貸倒引当金	△132	△118
流動資産合計	49,258	43,587
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	7,010	7,020
機械、運搬具及び工具器具備品	10,350	10,405
土地	9,051	9,054
リース資産	388	503
建設仮勘定	23	5
減価償却累計額	△14,565	△14,697
有形固定資産合計	12,259	12,291
無形固定資産	36	36
投資その他の資産		
投資有価証券	1,589	1,733
破産更生債権等	2,033	2,041
繰延税金資産	107	94
その他	1,764	1,804
貸倒引当金	△2,034	△2,043
投資その他の資産合計	3,460	3,629
固定資産合計	15,757	15,958
資産合計	65,015	59,545

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成25年３月31日)	当第１四半期連結会計期間 (平成25年６月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	25,902	23,861
短期借入金	7,050	3,853
未払法人税等	390	130
未成工事受入金	4,088	4,605
賞与引当金	91	34
完成工事補償引当金	190	166
工事損失引当金	896	580
その他	2,758	2,586
流動負債合計	41,367	35,819
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	1,523	1,523
退職給付引当金	3,657	3,700
役員退職慰労引当金	251	247
資産除去債務	86	86
その他	264	498
固定負債合計	5,782	6,055
負債合計	47,150	41,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,218	4,218
資本剰余金	8,110	8,110
利益剰余金	4,087	3,722
自己株式	△38	△38
株主資本合計	16,378	16,014
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	175	239
土地再評価差額金	1,560	1,560
為替換算調整勘定	△250	△143
その他の包括利益累計額合計	1,486	1,656
少数株主持分	0	0
純資産合計	17,865	17,670
負債純資産合計	65,015	59,545

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日)
売上高	18,624	21,531
売上原価	17,413	20,030
売上総利益	1,210	1,501
販売費及び一般管理費	1,676	1,661
営業損失（△）	△465	△160
営業外収益		
受取利息	0	2
受取配当金	6	7
持分法による投資利益	3	―
為替差益	―	19
スクラップ売却益	2	4
貸倒引当金戻入額	9	0
その他	7	14
営業外収益合計	29	47
営業外費用		
支払利息	19	20
持分法による投資損失	―	5
為替差損	13	―
支払保証料	13	11
その他	3	2
営業外費用合計	49	39
経常損失（△）	△484	△152
特別利益		
固定資産売却益	0	6
特別利益合計	0	6
特別損失		
固定資産除売却損	4	―
ゴルフ会員権評価損	―	0
投資有価証券評価損	―	0
特別損失合計	4	0
税金等調整前四半期純損失（△）	△489	△146
法人税、住民税及び事業税	64	70
法人税等調整額	9	28
法人税等合計	73	99
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△562	△245
少数株主利益	0	0
四半期純損失（△）	△562	△245

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△562	△245
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	63
為替換算調整勘定	15	38
持分法適用会社に対する持分相当額	1	68
その他の包括利益合計	8	170
四半期包括利益	△553	△75
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△553	△75
少数株主に係る四半期包括利益	0	0

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

セグメント情報

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	土木建設事業	建築建設事業	製造事業	その他兼業事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,949	8,324	173	178	18,624	－	18,624
セグメント間の内部売上高又は振替高	19	－	611	401	1,033	△1,033	－
計	9,969	8,324	784	580	19,658	△1,033	18,624
セグメント利益（売上総利益）	887	217	14	73	1,193	17	1,210

（注）１．セグメント間取引消去によるものであります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,193
調整額（セグメント間取引消去）	17
販売費及び一般管理費	△1,676
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△465

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額（注２）
	土木建設事業	建築建設事業	製造事業	その他兼業事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	10,216	9,252	190	1,872	21,531	－	21,531
セグメント間の内部売上高又は振替高	27	33	569	908	1,539	△1,539	－
計	10,244	9,285	760	2,781	23,070	△1,539	21,531
セグメント利益又は損失（△）（売上総利益）	996	304	△31	185	1,454	46	1,501

（注）１．セグメント間取引消去によるものであります。

２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の売上総利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,454
調整額（セグメント間取引消去）	46
販売費及び一般管理費	△1,661
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△160

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

３．補足情報

受注実績

区分	前第１四半期連結累計期間 (自　平成24年４月１日 至　平成24年６月30日)		当第１四半期連結累計期間 (自　平成25年４月１日 至　平成25年６月30日)		比較増減（△）	
	金額(百万円)	構成比(％)	金額(百万円)	構成比(％)	金額(百万円)	増減率(％)
土木建設事業	8,255	39.9	7,289	42.5	△966	△11.7
建築建設事業	12,067	58.4	9,488	55.3	△2,578	△21.4
製造事業	173	0.8	190	1.1	17	10.1
その他兼業事業	178	0.9	195	1.1	17	9.6
合計	20,674	100.0	17,164	100.0	△3,510	△17.0